

平成27年度
事業報告書

社会福祉法人 民生博愛会
第三東光保育園

平成27年度の入園児は、定員60名ではあるが4月1日は57名と定員割れをしてのスタートとなったが、3月には67名となった。27年度は0歳児が例年通りの入所数であった。これからも母親の職場復帰等就労等のサポートが出来ればと思っている。また、今後も広域入所を含め園児受け入れを積極的に行いたいと思うとともに、保護者が求めている「安心して子どもを任せられる保育園作り」をこれからも職員が力を合わせ努力し目指していきたいと思う。

昨今、家庭育児機能の低下や経済不安を抱え、親が安心して子育て出来ない状況があり、また、共働きの家庭の増加により、子育てを負担に感じたり不安を抱えたり子育てと仕事の両立に悩む人が増えてきているように思う。保育園として子どもの最善の幸せを願い、保育内容をより充実させ、保護者の就労と育児の支援、子ども一人ひとりの健やかな心と体の育ちの支援をしていかなければならないと思う。

1、保育活動

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とするものであり、人間形成の基礎をつくる非常に大切な時期に、一日の大半を過ごす所であるから、養護と教育が一体となって豊かな人間性を持った子どもに育てなければならないと考え保育を行った。

1. 保育目標について

心身共に健康で自分で考えて行動出来るこどもに育て自主性・意欲・思いやり・集中力の基礎を育むことを目標としてきた。

- いいこと、わるいことを自分で判断できる子に育てよう。
- 丈夫で、たくましい子に育てよう。
- 明るく素直な子に育てよう。
- 何事も最後までやり遂げる強い子に育てよう。
- 自主性のある子に育てよう。

2. 保育内容について

基本的な生活習慣の自立と共に遊びの中で、子ども同士がさまざまな経験を通して触れ合いを深め、成長と共に豊かな人間性を持った子どもに育つよう養護と教育が一体とした保育を進めてきた。

- 裸足や薄着になり健康で丈夫な体作りを行った。
- 砂遊びや水遊び、散歩等の戸外活動を通し自然に触れ楽しむと共に自然の移り変わりを感じ取る事が出来るよう保育した。
- 器楽演奏やリズム遊び、リズム運動を取り組む中でリズム感や身体の柔軟性、敏しょう性を養う事ができた。
- 調理保育や親子お楽しみランチ会（年長児）を通して、作る楽しさ、食べる楽しさを味わい、興味や関心を持つと共に、食べる意欲を育てるなど食育に力を入れる事が出来た。

- 絵本の貸し出しをする中で、絵本に親しみ表現や注意集中を身につける事が出来た。
- お花を観察したり、世話をする事により感性や情緒を豊かにし、いたわりの心を育てる事が出来るよう言葉がけを大切にした。

園児が安心して園生活をする上で、万一の場合を想定し避難訓練指導日や交通安全指導日を毎月1回保育に取り入れ、園児に理解できるよう実施した。また、職員内の役割を明確にし、協力体制のもと取り組む事に努力した。

- * 常日頃より、散歩等を通し実際に交通安全指導を行った。
- * 園児は避難訓練を通し、火事の恐ろしさを十分理解する事が出来た。
また、地震・津波の想定で避難訓練も行うと共に、広域避難場所まで実際に避難する事で、改めて訓練の大切さを確認する事が出来た。

3. 保育計画について

保育指針に基づき、子どもの発達や実態に応じた保育計画を立案し実行した。

- 保育課程、年案、月案、週日案、避難訓練指導など、各種行事案の立案をし実行した。
- 三歳未満児は、個々に計画を立案し実行した。

4. 保育環境について

園児が気持ちよく、安心して過ごせる様に次の点に十分配慮した。

- 園児が長い時間生活する事を考え、くつろげる温かな雰囲気を中心に心掛けた。
- 季節や行事に合わせて園内等に飾り等を設置した。
 - * 季節の植物（花等）・昆虫等の生き物
 - * 日本の伝統行事や季節の行事に関わる物（こいのぼり・ひな人形等）
- 園児に不快を与えないよう、音楽の音や保育士の声等に十分配慮をした。
- 園内は、子どもたちが清潔に安全に過ごせる様に常に配慮をした。
特に、保育室・手洗い場・トイレ等は消毒等も含め毎日清掃を行った。
- うがい・手洗いの励行をし、感染症予防としてペーパータオル・紙コップを使用した。
- 園児が使用する寝具類は、日光消毒や洗濯等を行い、いつも清潔を保つよう心掛けた。
- 園庭や砂場は常に、清潔で安全な状態を保つようにした。
 - * 園庭の石拾い、草取りを常に行い園児が安全に遊べるように配慮した。
 - * 砂場は常に清潔を心がけ、日光消毒や砂場用薬品を散布した。
- 園児が日々園生活をする中で、事故・怪我・危険のないよう園舎内外の破損等の確認、遊具等を常に点検し安全に過ごせるように配慮した。
 - * 園庭遊具点検については、4月に業者による点検を実施した。
 - * 外灯、窓、出入り口、避難口、鍵等の状況を日頃より点検した。
 - * 床暖房、給湯などを制御する重要なボイラーを業者に委託し、安全の確認や故障の無いようにメンテナンスを実施した。

5. 保育始園日および保育終了日について

○保育始園日 平成27年 4月 1日 ○保育終了日 平成28年 3月31日

6. 開園時間・休園日について

保護者の勤務形態の多様化に伴う開園時間延長を、今年度も特別保育補助事業として実施した。また、日曜日および祝祭日に保育行事を行った場合の振替休園日を設けず平常保育とした。

○開園時間

月曜日～土曜日 午前7時～午後7時

*午後6時～午後7時は延長保育とし、利用者から延長保育料を徴収した。

○休園日

日曜日および祝祭日・年末年始の休暇

7. 給食業務について

食事は、成長著しい乳幼児期の発達には欠かせない生活の中心となっているが、家庭での食事作りが手抜きになり、朝食抜きで登園する子もいて心配である。また、食の市場には季節感が無くなり旬を活かす料理が希薄になってきているので、法人本部と連携して次の点に留意した。

○栄養バランスを考え旬のものや、季節感のある食材やメニューを取り入れるとともに園児が喜ぶ手作りおやつも多く取り入れるように工夫した。

○日々の献立表を保護者に配布した。また、入園時に保護者より食物アレルギーの連絡があった場合、連絡を密にし適切な対応をした。

○離乳食の必要な園児については、家庭と連携を取りながらその子の状況に配慮し実施した。

*おやつ

3歳未満児は午前と午後の2回、3歳以上児は午後1回とし時間は以下のとおりとした。

年 齢	午前のおやつ	午後のおやつ
3歳未満児	午前9時30分	午後2時30分
3歳以上児	なし	午後2時30分

*昼 食

3歳未満児は主食と副食の完全給食、3歳以上児は副食のみとし時間は以下のとおりとした。

年 齢	時 間
3歳未満児	午前11時00分
3歳以上児	午前11時30分

8. 衛生および検便について

園長・乳児担当保育士および調理業務に携わる者には月1回の検便を義務づけた。また検便細菌調査はBML社に依頼した。

また、園児が安心して食事が出来るよう、食材・食器・調理室等の衛生管理には十分注意をし徹底した。

9. 怪我について

園児の遊びを見守りながらも、職員は怪我を伴う遊びや危険な行動をしようとした場合は、未然に防ぐと共に園児に危険な事を知らせ十分配慮した。

- 怪我が発生した時の対応、園児帰宅後の対応、怪我発生時の経過記録作成など様々な面で適切さが必要である事を強く感じ対応してきた。
- 日本スポーツ振興センター・園児総合賠償保険・特別保育事業各種保険への加入をし対応した。

10. 保護者との連携

保育の中で家庭との連絡は重要な事と把握し、園児の健やかな成長を願い一人ひとりの発達援助や又、苦情解決システムが発足する中、保護者との日常のコミュニケーションの大切さが重要とされている。この事を踏まえ、家庭との連携を密にし保育を進めてきた。

- バス遠足・夏祭り・運動会・お遊戯会・卒園式等の園行事を保護者の方に参加して頂いたり見て頂いたりし、園児の様子や成長を知って頂くと共に交流を深める事が出来た。
- クラス便り・保育通信の配布や送迎時の会話、連絡帳、個人面談、玄関に置いてある連絡ボードを利用し、家庭との連絡を密にした。又、子どもの園生活がわかるよう、各保育室前の連絡ボードに一日の活動内容を記入したり、保育参観を年3回実施した。

1.1. 保育ニーズへの対応について

延長保育（*1）

* 開園時間を延長することにより子どもが安全な環境で過ごすことが出来、保護者も安心して勤務出来たのではと思う。

・ 開園時間 月曜日から土曜日 午前7時から午後7時までの12時間

* 午後6時～午後7時を延長保育とし職員は2人体制とした。

・ 利用料 200円（内おやつ代50円）

〈延長保育(標準)利用実績報告書〉

月	開設日数	利用人数	月	開設日数	利用人数
4月	25	81	10月	26	92
5月	23	69	11月	23	95
6月	26	88	12月	24	118
7月	26	93	1月	23	66
8月	26	78	2月	24	71
9月	24	90	3月	26	75
			合計	296	1,016

・ 利用料 150円（内おやつ代50円）

〈延長保育(短時間)利用実績報告書〉

月	開設日数	利用人数	月	開設日数	利用人数
4月	25	11	10月	26	
5月	23		11月	23	
6月	26		12月	24	
7月	26		1月	23	
8月	26		2月	24	
9月	24		3月	26	
			合計	296	11

一時預かり事業（*2）

* 保護者の就労と育児支援として取り組み、保護者の乳幼児に対する育児不安を解消し、園児は同年齢児のクラスに入室し行動した事により生活習慣が身に付いた。

* 保育日数及び保育時間

・ 保育日数は、月12日間を限度とした。

・ 保育時間は、午前8時00分から午後4時00分。

ただし、事情により前後時間を延長する事も実施した。

・ 休園日は、日曜・祭日・年末年始とした。

* 利用料

・ 1,800円（内昼食代300円）

昼食を利用しない場合は、1,500円とした。

〈一時預かり利用実績報告書〉

月	開設日数	利用人数	月	開設日数	利用人数
4月	25	14	10月	26	35
5月	23	30	11月	23	26
6月	26	47	12月	24	32
7月	26	43	1月	23	33
8月	26	28	2月	24	27
9月	24	21	3月	26	28
			合計	296	364

世代間交流事業（＊3）

＊核家族が増え、おじいちゃんやおばあちゃんとふれ合う機会が少なくなってきていると思われるので、園としては次の様に実施し交流を行う事が出来た。

回数	交流実施日	交流内容	場所
1	7月1日	七夕交流会	保育園
2	7月7日	グループホームくぼ訪問	グループホームくぼ
3	7月8日	清華園訪問	清華園
4	7月11日	夏祭り	
5	9月16日	グループホームくぼ訪問	グループホームくぼ
6	9月18日	敬老の集い招待	保育園
7	10月3日	グループホームくぼ訪問	グループホームくぼ
8	10月16日	リンゴ狩り	みやご果樹園
9	10月19日	清華園デイセンター訪問	清華園
10	10月24日	グループホームくぼ訪問	グループホームくぼ
11	11月7日	お遊戯会招待	保育園
12	12月9日	清華園訪問	清華園
13	12月15日	年賀状発送	
14	12月18日	海老澤医院デイセンター訪問	海老澤医院
15	12月24日	グループホームくぼ訪問	グループホームくぼ
16	2月10日	おたのしみ会招待	保育園

・在園児の祖父母や地域の方を保育園に招待し、七夕製作・敬老会・お遊戯会・お楽しみ会等を一緒に楽しんだり食事をしたり、年賀状やお礼状を送る等交流を深めると共に核家族が増える中、おじいちゃんやおばあちゃんのやさしさ、暖かさを感じ取る事ができた。

異年齢児交流事業（*4）

* 少子化を初めとする社会状況の中で、異年齢児交流を通してたくましさや優しさを感じ取る様実施した。内容等については、次の通り行うことが出来た。

回数	交流実施日	交流内容	場所
1	4月11日	小学生交流会	保育園
2	7月11日	夏まつり	保育園
3	8月28日	上磯中学生交流会 (職場体験)	保育園
4	10月30日	小学校学習発表会鑑賞	谷川小学校
5	1月8日	新年交流会	保育園
6	2月20日	小学校土曜公開授業参加	谷川小学校

・小学生等を保育園に招待し、ゲームや製作等を楽しんだり、一緒に食事をしたり、又、園児が小学校を訪問し、運動会の練習を見たり学習発表会に参加するなど交流を深める事が出来た。

④*1・*2・*3・*4は、特別保育補助事業とする。

地域交流

日々の保育の中で、散歩等をし地域の方に元気よく挨拶や言葉をかわし地域の方に保育所を知って頂くよう努めた。

保護者あるいは地域の方や入所希望の家庭に、園の情報提供を行う事が出来た。

この中で、わかりやすく伝える工夫や配慮をし園との距離を近付けるよう配慮した。

*園を開放し夏祭りを実施する。地域の方々にたくさん来ていただき楽しく過ごせるよう内容を充実させ交流を深める努力をした。

*掲示板、地域の協力者宅等を利用し、園の行事等のお知らせをポスターの掲示等で行うことが出来た。

2、職員資質の向上

保育内容の向上をめざすと共に、園児指導法等を身につけよりよい保育を行い、保育活動が豊かになるよう研究し、また、保護者や園外の方に対しての対応、挨拶、電話での対応など社会人としてのマナーを身につけるよう努力をした。

自己評価をする事により保育の質を高めて行く努力をした。

*保育の資質向上、専門性を身につけるため、各種研修会に積極的に参加した。

＜参加研修会＞	
・	保育士等専門セミナー①
・	社会福祉法人施設ブロック研修会
・	保育所長トップセミナー
・	社会福祉法人・施設経理取扱事務研修
・	安全衛生推進者養成講習
・	運動会実技研修会 2015
・	渡島保健所支援強化研修会
・	児童虐待防止講習会
・	感染症予防研修会
・	子ども・子育て応援セミナー
・	渡島保育協議会 特別支援教育部会研修会
・	渡島保育協議会 保育士研修会
・	一般救急講習
・	次代の親づくりセミナー
・	こどもの予防接種について

*園内研修

園外研修参加報告を徹底し、園内研修を強め、更に自分たちの保育を見直し保育観を一致させ、全員が理解し合えるよう研修を行い努力した。

3、施設整備および備品等購入

施設環境は恵まれているが、常に点検を忘れず修繕が必要な箇所があった場合は、それに合わせ対応した。

園児の安全を考え、遊具等の点検は業者に依頼すると共に職員が細心の注意を忘れずにし、又、備品類に関しては、修繕のきかないものは取り替えた。

(建 物)

・保育室2部屋の床の貼り替え、トップライトの部品交換を行う。その他、園内各所の修繕はその都度行った。

(備 品)

・布団棚、滑り台(園庭遊具)、ロッキング(園庭遊具)、物置、厨房調理台を購入。

4, パソコンおよび周辺機器の導入

パソコンによる業務効率化を目指し実践した。

- ・ 保育通信、クラスだより等の作成
- ・ 予算書の作成
- ・ 電子メールによる情報交換および事務連絡
- ・ ホームページによる情報公開

5, 年間行事

平成27年度年間行事予定を作成し保育活動を実施し、また、保護者にも事前に配付し保育活動に理解および協力を求め予定通り実施することが出来た。

6, 参考資料

- ・ 園児数 (月初日)

月	北斗市
4月	57人
5月	58人
6月	60人
7月	62人
8月	65人
9月	66人
10月	66人
11月	66人
12月	66人
1月	66人
2月	66人
3月	67人

以上